

令和4年度第1回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和4年5月25日（水）13：00～14：09

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・教授
3	小滝 敏之	常任理事・特任教授
4	飯島 一生	高校副校長・評議員
5	山口 博	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
6	安藤 あづさ	高校教頭・評議員
7	長谷川 七三一	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
8	堀井 満美	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
9	本田 達之介	千葉経済大学父母の会会長・評議員
10	木達 マチコ	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
11	内藤 定雄	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
12	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
13	茂手木 直忠	医療法人社団直心会理事長・校医・産業医・評議員
14	影山 美佐子	ビジネスライフ学科長・教授・評議員
15	山田 清實	元伊藤忠エネクス取締役会長・評議員
16	山口 和夫	(株)さつま屋社長・評議員
17	村松 重彦	(学)聖メリー学園・小ばと幼稚園理事長、園長・評議員
18	佐久間 道子	評議員
19	栗沢 尚志	大学経済学科長・教授・評議員
20	藤代 謙二	評議員
21	高屋 和彦	大学特任教授・大学名誉教授・評議員
22	佐久間 達郎	評議員
23	積田 悟	前高校副校長・評議員
24	嶋田 和雄	(株)グランドアール取締役・評議員
25	青柳 俊一	(株)千葉興業銀行会長・学園監事
26	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

議題

【1】令和3年度事業報告について

議長の指名により、山口 博 法人事務局長から、別添1「学校法人千葉経済学園令和3年度事業報告書」に基づき、法人の概要、事業の概要について説明がなされた。

事業の概要

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保・向上を図り、良識と創意に満ちた感性豊かな人材の育成の実現に向けて教育研究を推進した。

新型コロナウイルス感染拡大防止に引き続き万全を期するとともに、学園の発展を期するために、学生・生徒数の確保と徹底したコスト抑制を行い、財務体質の健全化を図りつつ、教育環境の整備を行った。

令和3年度に実施した事業の主な内容は次のとおりである。

[千葉経済学園]

(1) 建学の精神の啓蒙

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」について、「今月の論語」の教室掲示や総合図書館の「論語コーナー」「渋沢栄一コーナー」の設置等の多様な取組みにより周知徹底を図った。

(2) 大学・短期大学・高校の三者連携推進

「千葉経済学園三者連携会議」を軸に、ビジネス教育、入試、進路、広報、学生・生徒の諸活動等にわたって三者間の密なる機能連携を図った。

(3) 学園情報のデータベース化

昨年度からの継続事業である学園全部門の文書資料の体系化とデジタル化及びデータベース化を進めるため、文書管理システムの調査・検討を行った。

(4) 感染症対策を講じた授業運営

引き続き新型コロナウイルス感染症対策の諸措置を講じ、対面授業を中心とする授業運営により、学生・生徒への教育の質の充実に努めた。

(5) ボランティア活動の推進

医療従事者に対するサンクスキャンペーンと題し、長期化する新型コロナウイルスへの対応に奮闘されている医療従事者への感謝と敬意を表すための募金活動を行い、学園近くの商店で和菓子を購入し、千葉大学医学部附属病院に届けた。さらにコロナ禍の影響で、血液不足が続いている医療現場のために、千葉県赤十字血液センターからの協力を得て、本学キャンパス内に献血車を招致し、学生等に献血を呼びかけた。また、稲毛区内の商業施設にて開催された夜灯（よとぼし）の設置準備や、県民マラソン大会の運営協力などを行った。

(6) 資格取得奨励

大学・短期大学・高校のそれぞれにおいて各種検定・資格試験の合格を奨励し、高度の資格取得者には奨励金を授与した（延べ人数で大学 31 名、短期大学 23 名、高校 67 名）。

(7) 防災備蓄の整備

大学・短期大学・高校の学生・生徒・教職員用に非常用食料や毛布等の防災用品を計画的に備蓄し、災害時に備えた対策を継続実施した。

(8) 働き方改革関連法への対応

育児・介護休業法の改正、その他の労働条件の改善や雇用形態の異なる職員間の均衡の取れた待遇を確保し得るよう関係規程を見直した。

(9) 教職員の感染予防の徹底

学生・生徒と接して教育活動に従事する教職員が、平素より体調管理に留意できる職場環境の整備（サーマルカメラ及びアクリル板の追加設置）に努め、感染予防に万全を期して取り組んだ。また、地域の医療機関と連携して、教職員及び学生・生徒に対し、新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施した。

[千葉経済大学附属高等学校]

(1) 教育環境の整備

① 新校舎全体の照明器具を LED 照明に更新し、省エネ化を図った。

② 新校舎の空調機器を 3 ヶ年計画で更新することとし、1 年目にあたる令和 3 年度分工事を実施した。なお、部品調達に鑑み、2～3 年目工事分は一括して令和 4 年度に実施することに改めた。

③ パソコン 41 台を備えたパソコン教室（1 教室）を新設した。

④ 特進クラスの各教室及び新設するパソコン教室に無線 LAN 環境を整備した。

(2) 学力向上のための授業内容の充実

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、授業運営に多くの制限が生じたが、幸い年間を通じて対面授業が実施できた。グループ学習など、生徒同士が意見を発表し合う活動は十分にはできなかったが、一部の授業で teams を活用することにより、対話的な学習内容を可能にすることができた。

(3) 特進クラスの教育充実と大学進学実績の向上

今年度の特進クラス 3 年生は少人数であったため落ち着いた雰囲気でも個々の進路に取組み、それぞれが希望する進路へ進むことができた。

(4) 専門科教育の充実

専門科の目標とする資格取得において、簿記 3 級合格率は、商業科 97.9%・情報処理科 88.6%で両科ともに昨年度を上回り、特に情報処理科では 10%以上上昇した。また、その他の各種資格においても取得率が 80%を上回っている。高度資格についても、IT パスポートに 27 名合格（内 2 名は 1 年生）し、日商簿記検定 2 級には 6 名合格など実績を残した。課題研究については、株式会社 ZOZO フレンドシップマネージメント部によるオンライン授業を実施した。

(5) 新学習指導要領への移行準備

令和 4 年度 1 年生からの、新教育課程の編成準備が完了した。

(6) 部活動の振興

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、高体連・高野連・高文連等の主催大会は実施され、運動系ではソフトボール部・卓球部・柔道部・ボクシング部が全国大会に出場し、ソフトボール部は優勝した。文化系では珠算部・将棋部・バトントワラーズ部が全国大会に出場した。

(7) 定員確保のための生徒募集活動の遂行

オープンキャンパス・入試説明会は参加人数の上限を決めての予約制開催として、感染拡大防止策をとりながら入試広報活動を行った。入試広報室を中心にして全職員で生徒募集にあたり、定員を上回る 591 名の新生を確保することができた。志望者は情報処理科で増加傾向にあるが、普通科の文理一般コースはやや低調であった。

(8) いじめ及び体罰の防止に努める

いじめについては、教員相互の協力のもと早期発見に努め、深刻となるような問題は発生

しなかった。

(9) 教員研修の充実

新型コロナウイルス感染症の影響で、校内における研修のみ実施した。

以上

【2】令和3年度決算について

議長の指名により、石井 伸 会計課課長代理から、令和3年度決算について別添2「令和3年度 学校法人計算書」に基づき、資金収支決算額、事業活動収支決算額及び令和4年3月31日現在の貸借対照表について説明が行われた。続いて、議長から本決算に関する意見を求めたところ、青柳 俊一 監事から、青柳 俊一、植松 省自 両監事より提出された監査報告書(資料1)に基づき学園の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことが認められた旨報告がなされた。

【3】令和4年度補正予算について

議長の指名により、石井 伸 会計課課長代理から、別添3「議案説明資料および令和4年度資金収支補正予算書・事業活動収支補正予算書」に基づき、原油価格高騰による電気・ガス料金の値上がりを見込んで補完措置を講ずるための措置及び高校教員情報機器の予算についての説明があった。

【4】その他(報告事項等)

議長の指名により、飯島 一生 高等学校副校長より高等学校の近況報告についての報告があった。

附属高校は4月7日に入学式を実施し、コロナ対策の関係で普通科、専門科の2部制で行い591名が入学しました。県の方針等で教育活動についても出来るだけ通常に戻すようにと言う方針が出て、本校においても行事等も出来るだけ感染対策を取りながら予定されたものは実施して行く方向で進めております。授業活動についても、これまでは、感染対策の関係でグループ学習または実習・実験は出来るだけ避けようと言うことでしたが、そう言ったものについても通常の学習活動に少しずつ現在戻しております。感染状況は常に数名の感染者は校内から出ていますが、予断を許さない状況であります。朝の見回り・検温・健康チェック等を実施しながら出来るだけ生徒にも3回目のワクチン接種を

して感染対策を進めるようにして学校生活を行っております。春の部活動の大会は、既に始まっており7つの部活動が関東大会出場を決めており内2つは男女での出場と言うことです。また、文化部では、将棋部が全国大会への出場を決めております。高体連、高文連ともに、大会等の実施も正常に戻って生徒たちも生き生きと活動し大会に臨んでおります。また、3年生の進路活動では、昨日、中間試験最終日に進路ガイダンスを実施しました。大学・短期大学の先生方にもご協力をいただき、生徒の進路を考える最初の機会として実施されました。

満足度調査結果 全科全学年<R4年3月度>

友人関係がいちばん高くなっております。これも数年来の傾向とほぼ同じ傾向となっております。ただ、コース別に見ますと<普通科特進コース>の3年生で友人関係が逆に低くなっていますが、この学年は人数が少ない学年であり、1人、2人の人数が割合に反映する度合いが大きくなっています。少し人間関係に苦手な子が数名いたと言うことが結果として出てきていますが、人間関係に大きな問題等は特に発生していませんので、概ねこのような数字で生徒達は学校生活を送っていると理解しております。

・意見

千葉県内の大学で、ウクライナの学生を受け入れているところが出てきました。もし、機会があれば、そういう志のある学生を一人でも多く入れることが、学園の新しい人材育成の上で必要かと思えます。是非、経済学園の豊かな環境の中で国際貢献なども視野に入れて頂ければ嬉しく思いますと言う意見が出された。